

立ち止まっても人生は変わるし、進んでも人生は変わる。
でも、

進まなきゃよかったと
ずっと思ってる。



こうした思いを抱えながら
今立ち直ろうとしている人がいます

“特殊詐欺×若者”

この社会課題をきっかけに
再犯防止について一緒に考えてみませんかー



日時

令和7年

12月21日(日) 13:30~16:30 (12:30 開場)

会場

名城大学ナゴヤドーム前キャンパス南館1階(DSホール)

※ 公共交通機関でお越し下さい。JR 中央本線・名鉄瀬戸線「大曽根」駅から徒歩約10分
地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田」駅から徒歩約4分

《プログラム》

第一部：パネリスト講演

特殊詐欺に加担した経験
のある若者もVTRで登場

原田知佳氏(名城大学人間学部教授)

渋谷幸靖氏(NPO 法人陽和理事長)

尾崎昭裕氏(愛知県警察本部生活安全総務課)

礪波雅人氏(瀬戸少年院法務教官)

第二部：パネルディスカッション・Q&A セッション

申込

2次元コードからお申し込み下さい

12月12日(金)締切【事前申込優先】

(メールが起動します。必要事項をご記入の上送信してください。)



11:00~17:00

矯正展開催

刑務所作業製品を販売します!

主催：名古屋高等検察庁 中部矯正管区 中部地方更生保護委員会 名古屋法務局

共催：管内地方検察庁 管内矯正施設 管内保護観察所 管内地方法務局

後援：富山県 石川県 福井県 岐阜県 愛知県 三重県 名古屋市 愛知県警察 愛知県弁護士会

愛知県社会福祉協議会 名古屋市社会福祉協議会 愛知県地域生活定着支援センター

愛知県人権擁護委員連合会 中部地方保護司連盟 中部地方更生保護事業連盟

【お問合せ】中部矯正管区更生支援企画課 ☎052-971-6003



我が国における刑法犯検挙者のうち、 約~~100~~人に1人が再犯者です。

我が国において、刑法犯により検挙された者のうち、再犯者が占める割合（再犯者率）は、令和5年で47.0%※と、刑法犯検挙者の約2人に1人が再犯者という状況が続いています。

犯罪や非行をした人の社会復帰支援においては、国・地方公共団体・民間協力者との連携が欠かせません。中でも、再犯防止に関する民間協力者の活動は裾野の広いものであり、“息の長い”支援を行う上で民間協力者は重要な社会資源です。このような民間協力者の役割の重要性を踏まえ、地域社会で再犯防止に資する取組を行う民間協力者を積極的に開拓し、より一層の連携を図ることが求められています。

本シンポジウムは、「**民間協力者による社会課題解決としての再犯防止の取組**」をテーマとしているところ、広く誰もが当事者となり得る「特殊詐欺」を社会課題として取り上げ、再犯防止に取り組む民間協力者をお招きし、更なる連携強化に向けた意見交換を行うことをもって、再犯防止の協力の輪をどのように広げられるか、これからの社会を担う若い世代の方をはじめ、皆様と一緒に考えることを目指します。

※法務省『令和6年版 犯罪白書』

未来の
ために

◀ 中部矯正管区内
少年院在院生作



矯正展とは

矯正行政や刑務作業の現状と重要性について国民の皆様に広く知っていただくため、受刑者が社会復帰を目指して刑務作業に取り組む姿や全国の刑事施設で行われている再犯防止施策などに関する広報を行うほか、実際に受刑者が製作した刑務所作業製品の展示・即売を行う催しです。なお、刑務所作業製品の売上の一部は、犯罪被害者支援団体の活動に役立てていただいています。

ここに登場するイラストは、中部矯正管区とユーチューバー「そんな奥さんおらんやろ」のコラボレーション動画の1コマです。動画では、犯罪からの立ち直りの難しさや、周りの方の支えの大切さをアニメーションで表現しています。ぜひご覧ください！

YouTube 法務省
チャンネルで公開中

